

代表者名	門脇光浩	所管部課名	産業労働部観光課
所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢国有林	設立年月日	平3年10月22日

【沿革及び県の出資理由】

県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備される予定であったことから、地区内の県有基盤施設の維持管理や、給湯施設の整備等を目的に県等の出資により平成3年10月設立。

【出資者】（23年度当初） (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	5,000	50.0
市町村	1	1,000	10.0
その他	2	4,000	40.0
計	4	10,000	100.0

【事業】

①主たる業務

新玉川地区進出企業に対する玉川温泉供給施設の整備運営

②事業実績 (人)

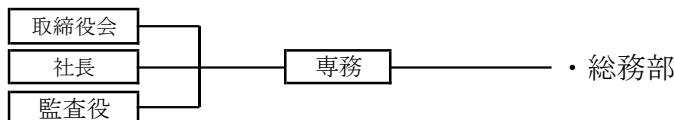
事業名等	20年度	21年度	22年度
ビジターセンター来場者数	18,788	19,421	17,730

③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標

22年度事業概要
給排水施設維持管理業務、ビジターセンター管理運営業務、基盤施設維持管理業務、基盤道路除雪業務
23年度事業計画
22年度同様の業務を行う

【組織】

①運営機構



②役員数 (H23.7.1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	4	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	5	1
内、県関係者	1	

③職員数(H23.4.1現在)(人)

正職員	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
内、県退職者		
出向職員	3	
内、県職員		
臨時・嘱託		
内、県退職者		
計	3	
内、県関係者		

正職員平均年収 千円

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

①損益状況(22年度) (千円)

	金額
経常収入 A	27,518
受託事業収入	27,410
補助金収入	
自主事業収入	
運用益収入	
その他	108
経常支出 B	27,407
人件費	5,030
その他	22,377
経常損益 C = A - B	111
経常外収入	
諸税	97
当期損益	14

②財務状況(22年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	20,647	92.4
固定資産	1,707	7.6
資産計	22,354	100.0
流動負債	12,248	54.8
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	12,248	54.8
資本金	10,000	44.7
剰余金	106	0.5
純資産計	10,106	45.2
負債・純資産計	22,354	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
			%

【県の財政支出】 (千円)

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	10,141	10,107	9,823	県有基盤施設の維持管理事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	33.19	54.01	45.21	20.82	▲ 8.80
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	149.59	188.56	168.57	38.97	▲ 19.99
収益性	剰余金（▲欠損金）	千円	0	92	106	92	14
	経常利益率	%	0.35	▲ 1.10	0.40	▲ 1.45	1.50
	総資本利益率	%	0.33	▲ 1.61	0.50	▲ 1.94	2.11
発展性	経常収入額	千円	28,785	27,336	27,518	▲ 1,449	182
効率性	総資本回転率	%	0.96	1.46	1.23	0.50	▲ 0.23
	職員1人当たり経常収入	千円	9,595	9,112	9,173	▲ 483	61
	人件費比率	%	17.50	18.41	18.28	0.91	▲ 0.13

2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	県委託費（千円）	目標	10,131	10,135	9,791	9,737
		実績	10,141	10,107	9,823	
	ビジターセンター来場者一人あたり管理経費（円/人）	目標	268	268	252	276
		実績	285	276	285	
事業成果指標	ビジターセンター来場者数（人）	目標	20,000	20,000	20,000	18,000
		実績	18,788	19,421	17,730	
	給水量（m ³ ）	目標	208,330	190,000	182,600	134,000
		実績	204,356	182,199	170,158	
顧客満足度指数	目標	80	79	76	76	
	実績	76	74	75		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

給排水維持管理業務は、山間部特有のゲリラ的な雨の日が多く、その都度原水濁度高が発生し運転が停止したが、薬注量を調整し回復しており、年間を通じて断水することなく各施設へ供給が出来た。

委託業務は、夏場の長雨や猛暑の影響と、高速道路のETC割引効果が薄れたこと等により来湯者が減少し、温泉の立ち寄り客が多くを占めるビジターセンターの入館者数も減った。

除雪業務は、1月の大雪で、除雪機械の移動が多くなり経費がかさんだ。又、東日本大震災による影響で燃料不足があったが、業務は無事終了することが出来た。

＜顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組＞

委託業務については、周辺施設への周知協力を求め、ビジターセンター利用者の増加を目指すとともに、職員による積極的なアイデアにより、お客様から親しみやすく喜んでもらえる運営を目指す。

4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

I 概ね安定した経営内容

II 一層の努力を要する経営内容

・平成22年度までに収支改善に至っていない。さらに、平成22年度は営業債権の一部が滞留し、入金が遅延した。収入を地元温泉宿泊施設経営企業2社と秋田県に依存しており、地元企業2社は東日本大震災の影響を大きく受けている中で、増収を図るため、平成23年度は負担金の単価値上げを実施したが、売掛金の更なる滞留を生じさせるリスクが懸念される。

＜早期の改善が望まれる事項＞

・資金水準が低い状態が続くものと考えられることから、資金不足を回避するためには、損益の予算管理は勿論のこと、月次での資金管理を適切に行うことが求められる。